

まちの思い

教育の中で乳幼児期は特に大切な時期です。自分の得意なこと、好きなことに自信をもち、生きることに対してのエネルギーを蓄えられるような教育を目指し、今後も常に最善を考えていきたいと思えます。これからの未来を担う子どもたちの保育・教育について町民の皆様にも関心を寄せていただき、地域みんなが子どもたちを育てていきたいと思います。



1歳～2歳

特に1歳から2歳の未満児の時期に安心できる人や場所、心のよりどころを作ること、「心の基地」（非認知能力）を育みます。

* 1歳から2歳は「心育て」に力を入れます。「心の基地」は一生生きていくのに必要な力です。

3歳～5歳

幼児期の脳は「楽しい!」と感じる時に発達します。そして、教えられるより自分から意欲的に取り組むことにより、発達効果が上がります。

* 3歳から5歳は「主体的に遊び込む」幼児教育の充実を図ります。

認定こども園になると どうなるの?

認定こども園は子どもの保育と教育を一体的に行う施設で、保育園と幼稚園の両方の良さを併せ持っています。

1歳～就学前までの子どもが利用でき、3歳～5歳については、親が働いているいないに関わらず受け入れを行います。

右図の通り、今までの保育園の機能に加え、幼稚園で行う幼児教育の要素が大きく加わります。



子どもたちは、保護者や地域の方々、教師など周りの大人に見守られ、支えられています。そうした中で、学問や芸術、文化などに触れたり、先生や仲間と一緒に考えたり、話し合ったり、協働したりしています。これが『學』の成り立ちです。

ですから、『學』の字は「コミュニティ・スクール」ではないでしょうか。

「学ば」ためには、子どもを取り巻く大人の関わりが大事なのです。子どもたちがよいことをしていれば大いにほめ、悪いことをしていれば注意し、子どもたちと一緒に活動して喜びあったり楽しみあったりしましょう。

それにより、子どもたちの自尊心（ありのままの自分を受け入れる感情）が高まり、「心の基地」（非認知能力）が育ちます。それにより、学ぶ意欲が高まり、学力が向上すると言われていきます。

日南町の教育には、子どもたちに関わる大人の手がとても重要です。そんな環境を作っていきたいのです。これが、日南町版コミュニティ・スクールです。



4/30 遠足・CSサポーター着任式

